

第五次国有林野施業実施計画書

(胆振東部森林計画区)

計画期間 (自 平成28年4月 1日
至 平成33年3月31日)

策定年月日：平成28年3月28日

北海道森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	6
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
	(1) 保護林の名称及び区域	7
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	7
6	レクリエーションの森の名称及び区域	8
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	10
8	その他必要な事項	
	(1) 施業指標林、試験地等	11
	(2) フィールドの提供	12
	(3) 森林共同施業団地	12

別表 保護林・レクリエーションの森等箇所別一覧表

保護林

レクリエーションの森

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプ

附属資料

- (1) 林種別、伐採方法別、主伐・間伐別の伐採面積及び伐採量
- (2) 林種別、更新方法の区分別及び樹種別の更新面積
- (3) 更新量の割振り

その他附属資料

- (1) 国有林野の現況
 - ① 担当区別の区域及び面積
 - ② 保安林、自然公園等の面積
 - ③ 林況（林種別齢級別面積, 材積及び成長量）
- (2) 機能類型別の国有林野の現況
- (3) 林道等の現況
- (4) 収穫予想表
- (5) 地元施設等の現況

- 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図（別添1）による。
- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量
 - (1) 伐採造林計画簿
伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。
 - (2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	6,754	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			スギ	65年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	335	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			スギ	100年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	9,817	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	2,875	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	22,573	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	3,941	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
その他施業群	—	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。	個別に定める。	
合計	46,295			

注) 林地面積の集計である。
計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林	その他
上限伐採面積	501	21	1,731	479	3,762	657	-

(4) 伐採総量

(単位：m³、h a)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	-	(179) 4,923	4,923				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	-	(142) 4,432	4,432				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	2,009	(2,578) 110,053	112,062			
	長期単層林	-	(28) 821	821			
	複層林	3,289	(2,673) 96,955	100,244			
	混交林	995	(616) 27,728	28,723			
	育成天然林	-	(103) 5,576	5,576			
	天然生林	-	-	-			
	その他	-	-	-			
	計	6,293	(5,998) 241,133	247,426			
合 計	6,293	(6,319) 250,488	256,781	20,000	276,781	-	276,781
年 平 均	1,259	(1,264) 50,098	51,356	4,000	55,356	-	55,356

注) 上段()は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³、ha)

市町村名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量		
苦小牧市	4,284	(2,310) 94,819	99,103			
白老町	1,435	(2,107) 83,751	85,186			
むかわ町	574	(1,902) 71,918	72,492			
合 計	6,293	(6,319) 250,488	256,781			

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工造林	単層林造成	-	-	-	-	8	8
	複層林造成	-	-	-	-	37	37
	計	-	-	-	-	45	45
天然更新	天然下種第1類	-	-	-	-	237	237
	天然下種第2類	-	-	-	-	18	18
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	255	255
合 計		-	-	-	-	299	299

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	6	-	888	-	14,261	15,155
	つる切り	7	-	40	-	609	656
	除 伐	54	-	293	-	4,481	4,828

3 林道の整備に関する事項

基幹・その他別	開設・改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数(改良)	備考
胆振東部森林管理署						
基幹	開設	王古丹林道八幡線	2070~2071	1,900		むかわ町
	計	1路線		1,900		
その他	開設	勇振	1217~1220	2,600		苫小牧市
		丸山支線	1257~1259	2,400		〃
		厚平内支線	1177~1178・1209	2,800		〃
		左の沢	152~154	2,100		白老町
		5点沢連絡	68~69	1,800		〃
		萩野第1	71	2,000		〃
		白水沢右股	29・34	1,100		〃
		藤山の沢	2148・2150	800		むかわ町
		オロロップ1号	2103・2105・2106	3,600		〃
		オロロップ4号	2106~2107	3,000		〃
		オロロップ6号	2103~2105	1,900		〃
		稲里3号	2138・2141	1,900		〃
		稲里5号	2128~2130・2133	2,700		〃
		新登川2号	2173~2174	2,300		〃
		王古丹支線	2080	2,300		〃
		トサノ沢	2123~2124	2,400		〃
		坊主山支線	2122	1,700		〃
計	17路線		37,400			
基幹	改良	社台林道別々線	210	20	1	白老町、溝渠工
		福富林道島呂布線	2123	200	2	むかわ町 擁壁工、溝渠工
	計	2路線		220	3	
森林計画区合計						
開設	基幹	1路線		1,900		
	その他	17路線		37,400		
	計	18路線		39,300		
改良	基幹	2路線		220	3	
	その他	-路線		-		
	計	2路線		220		

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計画量	備考
胆振東部森林管理署				
覚生沢下流 285, 286, 290~292	保全施設	溪間工	5箇所	苫小牧市
苫小牧川上流 1337, 1342	保全施設	溪間工	1箇所	〃
飛生川 12, 17, 19, 26, 28	保全施設	溪間工	4箇所	白老町
トドマツ沢 95, 96	保全施設	溪間工	1箇所	〃
イオニップ川 2006, 2009	保全施設	溪間工	1箇所	むかわ町
大崩沢 2120	保全施設	溪間工	1箇所	〃
飛生川 12, 22	保全施設	山腹工	4箇所	白老町
カンケンナイ沢	保全施設	山腹工	1箇所	むかわ町
森林計画区合計	保全施設	溪間工	13箇所	
		山腹工	5箇所	
		計	18箇所	
	保安林の整備	植栽工	- ha	
		本数調整伐	- ha	
		計	- ha	

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	特 徴 等
林木遺 伝資源保 存林	北海道カツラ1 林木遺伝資源保存林	既設	43.37	別表 参照	カツラ・イタヤカエデの遺伝資源の保 存。
	北海道クリ3 林木遺伝資源保存林	既設	11.77	別表 参照	クリの遺伝資源の保存。
	北海道ケヤマハンノキ9 林木遺伝資源保存林	既設	7.09	別表 参照	ケヤマハンノキの遺伝資源の保存。
	北海道アサダ30 林木遺伝資源保存林	既設	6.96	別表 参照	汎針広混交林帯樹林のアサダの遺伝資 源の保存。
	北海道ウダイカンバ31 林木遺伝資源保存林	既設	11.14	別表 参照	汎針広混交林帯樹林のウダイカンバの 遺伝資源の保存。
	森 林 計 画 区 計	5箇所	80.33		
特定動 物生息 地保護 林	植苗オオワシ・ オジロワシ生息地 特定動物生息地保護林	既設	34.18	別表 参照	オオワシ・オジロワシの繁殖地、生息 地等の保護
	森 林 計 画 区 計	1箇所	34.18		
森 林 計 画 区 合 計	6箇所	114.51			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自然休養林	ポロト自然休養林	既設	395.65	別表参照	アイヌ文化の伝承施設「白老ポロトコタン」に接し、町内近郊唯一の原始性に富んだ森林で、ミズバショウ、ザゼンソウ等の湿性植物や多くの野鳥類の生息等、周囲森林と調和のとれた優れた景観を維持し、四季を通じて利用者が多い。	複天	歩道外 (国、白老町、民族文化伝承保存団体)	歩道延長 2900m	「*」は、保健機能に該当する森林
	* (自然観察教育ゾーン)		255.59						
	* (森林スポーツゾーン)		17.90						
	(風景ゾーン)		26.38						
	(風致探勝ゾーン)		11.77						
	* (風致探勝ゾーン)		84.01						
	計		395.65						
	森林計画区計	1箇所	395.65						
野外スポーツ地域	モーラップスポーツ林 野外スポーツ地域	既設	329.66	別表参照	モーラップ山を中心とした天然林主体の自然環境に恵まれ、近郊にはキャンプ場等の施設もあり、自然探勝と体力増進のための野外活動に利用されている。	複天 間伐 26.81 ha	スキー場 (民間)		
	森林計画区計	1箇所	329.66						
風景林	口無風景林	既設	35.79	別表参照	水面に映える樹種も豊富で、四季の変化に富んでいる。また、水鳥類をはじめ野鳥の種類も多く、レクリエーションの場として市民に親しまれる。	複天	遊歩道外 (国、北海道、苫小牧市)	遊歩道延長 1000m	
	植苗風景林	既設	256.19	別表参照	近接地に白鳥湖、ウトナイ湖があり、アオサギ等の水鳥をはじめ多くの野鳥が生息し、冬は白鳥の飛来が見られ、格好の探鳥の場となっている。	天			

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風景林	支笏湖風景林	既設	28.02	別表参照	天然林に囲まれた神秘的な湖と、新緑や紅葉が美しく景観が優れている。 支笏湖をとりまく樽前山、白老岳、漁岳、恵庭岳、紋別岳の各山岳とも登山が容易で、高山植物も多く、それぞれ独特の山容を映した湖面の美しい景観と雄大な眺望を維持している。	天	車道 (苫小牧市)		
	苫小牧風景林	既設	217.13	別表参照	苫小牧市街から支笏湖への観光ルートであり、樽前山麓平地林のトドマツ、エゾマツ、カラマツ等、北海道特有樹種の森林帯が観光客の目を引いている。	複天 間伐 6.68 ha			
	オロフレ岳風景林	既設	811.23	別表参照	ダケカンバを主体とした森林で、山頂にはハイマツをはじめ高山植物の群落もあり、紅葉美に優れており、来訪者も多い。	複天			
	白老岳風景林	既設	225.51	別表参照	広葉樹を主体とした森林で、山頂には多種の高山植物が分布し、格好の登山の場として親しまれている。また、樽前山、風不死岳を含む秀峰やこれに続く雄大な樹海を眺望できる。	複天			
	ホロホロ山風景林	既設	139.71	別表参照	広葉樹を主体とした森林で、山頂には多種の高山植物が分布している。また、白老岳、恵庭岳、倶多楽湖やこれに続く雄大な樹海が優れた景観を見せる。	複天	登山道 (白老町)		
	白老川風景林	既設	363.58	別表参照	白老川の源流域に広がる森林で、溪谷岩崖が多く奇勝、奇岩をもち、新緑と紅葉時期は溪流に映え、優れた景観を見せる。	複天 間伐 12.47 ha			

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風景林	インクラの滝風景林	既設	27.05	別表参照	滝を中心に、トドマツ、エゾマツといった針葉樹をはじめ多様な広葉樹からなる森林で、四季それぞれの色彩を映し、落差のある滝の豪壮な飛瀑景観を見せる。	天			
	倶多楽湖風景林	既設	37.99	別表参照	倶多楽湖に通じる観光道路沿線の広葉樹を主体とした森林で、神秘的な蒼い湖と緑の森のコントラストが美しく、観光のコースとなっている。	複 天 間伐 0.85 ha			
	森林計画区計	10箇所	2,142.20						
その他	樽前山	既設	1.29	別表参照	(道路、駐車場、建物敷、登山道)		駐車場外 (苫小牧市)		
	森林計画区計	1箇所	1.29						
森林計画区合計		13箇所	2,868.80						

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単＝育成単層林へ導くための施業 複＝育成複層林へ導くための施業
天＝天然生林へ導くための施業

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
遺伝子保存林	ドロノキ支笏湖B 遺伝子保存林	昭和53年	2.94	1410 ほ	林木育種事業を計画的、効率的に実施するため現存する林木の優良遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用する。
	森林計画区計	1箇所	2.94		
検 定 林	北北6号一般次代検定 林	昭和43年	4.26	28 た	精英樹選抜育種事業実施要領に基づく検定林。
	北北19号地域差検定 林	昭和63年	3.00	266 ち1	精英樹選抜育種事業実施要領に基づき、一群の精英樹系統種苗が揃って良好な成長を示す地域(適応範囲)を判定し、種苗の配布区域を定める目的で設定された検定林。
			1.41	266 ち2	
		計	4.41		
	北抵抗北2号試植検定 林	昭和52年	0.10	1303 に2	外国からの導入樹種や在来品種等の中で実用化の可能性のたかいものを現地に試植し、その生産性を確認する。
			0.11	1303 に3	
			0.06	1303 に13	
			0.09	1303 に16	
			0.03	1303 に18	
			0.02	1303 に19	
			0.01	1303 に20	
			0.04	1303 に22	
		計	0.46		
北北24号育種集団林	平成21年	0.70	1218 と	精英樹で構成された次代検定林の中から、成長や材質などが優れた個体を選抜し人口交配を行い、これらの交配家系で育種集団林を造成し、一層優れた特性を有する第2世代品種を創出する。	
森林計画区計	4箇所	9.83			
展 示 林	白老風害展示林	昭和31年	0.66	63 ろ	長期的に存置し、森林遷移について広報等に利用する。(試験地から設定替)
		計	1.10	64 ろ	
		計	1.76		
	苫小牧風害展示林	昭和31年	1.67	1301 い3	
	丸山グイマツ展示林	昭和63年	1.89	1311 い2	長期的に存置し、森林施業について広報等に利用する。
			2.02	1311 は	
			1.83	1311 に	
		計	5.74		
トドマツ優良家系 展示林	平成23年	0.53	1195 め	成長等に優れたトドマツ精英樹家系を展示し育種種苗の普及等に利用する。	
アカエゾマツ優良家系 展示林	平成24年	1.17	1195 る	成長等に優れたアカエゾマツ精英樹家系を展示し育種種苗の普及等に利用す	
森林計画区計	5箇所	10.87			
試 験 地	森野エゾマツ人工林 収穫試験地	昭和48年	1.78	159 り	所属施行団の現行あるいは将来予想される施業法によって施業した場合の成長量、収穫量及びその他の統計資料を収集するとともに林分構造の推移を解明する。
	苫小牧アカエゾマツ人工林 収穫試験地	昭和59年	0.54	1220 へ	
	苫小牧植生調査試験地	昭和32年	18.73	1463 い	林冠破壊による植生の変化(風害後の遷移)。
	苫小牧広葉樹試験地	昭和50年	43.37	1205 い	落葉広葉樹林の更新。
	森林計画区計	4箇所	64.42		

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
モデル林	水土保全モデル林	平成12年	0.30	240 は	水土保全林における治山施設の設置についてわかりやすく示す場として設定。
			0.10	240 に4	
			3.40	240 ほ1	
			3.91	240 と	
			3.00	241 い2	
			3.83	243 ら	
			15.33	244 い2	
	計	29.87			
	水土保全モデル林	平成12年	2.88	1188 へ	水土保全林における森林施業をわかりやすく示す場として設定。
			1.75	1188 ち	
	計	4.63			
森林計画区計		2箇所	34.50		
森林計画区合計		16箇所	122.56		

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備考
297い2、れ、イ、ハ 298い1、ち1、ぬ1,2、チ 299い5、ね、ら、ニ、ル、 ワ、レ、ツ、ネ	遊々の森として (ポロト遊々の森)	協定面積46.97ha ポロト自然休養林保護管理協議会
299 ぬ	木の文化を支える森として (イウオンネシリ)	協定面積4.35ha 白老町長
1227 ほ	多様な活動の森として (野生動物の住める森づくり活動の森)	協定面積0.50ha ヒグマの会
1229 ろ	社会貢献の森として (森林再生ボランティアの森)	協定面積2.57ha 宗教法人天理教苫錦分教会(1.98ha)、体験林業年輪クラブ(0.15ha)、リコージャパン(株)北海道営業本部(0.44ha)
1283 は 1298 か 1357 い2	社会貢献の森として (アオダモ資源育成活動の森)	協定面積2.02ha 特定非営利活動法人アオダモ資源育成の会
1355 ろ	社会貢献の森として (道新ぶんぶんの森)	協定面積7.05ha (株)北海道新聞社
1325 は 1326 ほ 1326 ぬ2	社会貢献の森として (イワクラ100年の森)	協定面積4.50ha (株)イワクラ苦小牧出張所
森林計画区合計		面積:61.26ha

(3) 森林共同施業団地

名称	対象地 (林小班)	面積 (ha)	連携した施業 の内容	備考
安住・富内団地	民 1048 林班外	1,191	民有林と連携した林産物の安定供給システム販売	民: 10ha 450m ³ 国: 27ha 963m ³ 協定相手: むかわ町
	国 2044 林班外	1,191		
森林計画区合計	民	1,191	1 箇所	
	国	1,191		
	計	2,382		

別表

保護林・レクリエーションの森等
箇所別一覧表

保護林

【 林木遺伝資源保存林 】

(単位:ha)

北海道カツラ1

林班	小班	面積
1205	い	43.37

北海道クリ3

林班	小班	面積
297	そ	11.77

北海道ケヤマハンノキ9

林班	小班	面積
1348	ろ	2.34
1349	い	0.31
1352	い	4.44

北海道アサダ30

林班	小班	面積
2141	ぬ	6.96

北海道ウダイカンバ31

林班	小班	面積
2114	よ	11.14

【 特定動物生息地保護林 】

植苗オオワシ・オジロワシ生息地

林班	小班	面積
3183	ち	34.18

レクリエーションの森

【自然休養林】

(単位:ha)

ポロト(観察)

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
298	い01	天	22.26	*
	い02	天	9.70	*
	い03	天	24.71	*
	い04	天	10.96	*
	ろ	複	1.82	*
	は	複	5.71	*
	に	複	13.43	*
	ほ	複	9.18	*
	へ	複	3.79	*
	と	複	2.40	*
	ち02	複	5.89	*
	り	複	5.22	*
	ぬ01	複	1.25	*
	ぬ02	複	0.85	*
	イ		0.81	*
	ロ		0.55	*
	ニ		0.68	*
	ホ		0.23	*
	ヘ		1.64	*
	ト		0.07	*
チ		0.62	*	
299	い02	天	43.67	*
	い03	天	17.34	*
	い04	天	8.00	*
	ろ	複	0.25	*
	は	複	1.50	*
	に	複	13.20	*
	ほ	複	8.61	*
	と	複	3.91	*
	ち	複	3.10	*
	り	複	6.53	*
	ぬ	複	4.50	*
	ぬ01	複	2.76	*
	わ	複	1.41	*
	か	複	0.98	*
	よ	複	1.15	*
	た	複	1.40	*
	れ	複	2.58	*
	そ	複	3.16	*
	つ	複	4.40	*
	イ		0.38	*
ハ		0.36	*	
ヘ		0.55	*	
チ		1.10	*	
ヌ		0.04	*	
ワ		0.63	*	
カ		0.45	*	
タ		0.03	*	
ソ		1.83	*	

ポロト(森ス)

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
298	ハ		0.18	*
	ヌ		0.76	*
299	い05	天	3.60	*
	ね	天	1.50	*
	な	複	1.12	*
	ら	複	2.32	*
	ロ		0.82	*
	ニ		4.36	*
	ル		2.70	*
	レ		0.05	*
	ツ		0.47	*
	ネ		0.02	*

ポロト(風景)

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
297	い01	天	11.38	
	る	複	0.79	
	ト		0.42	
299	い01	天	10.49	
	へ	複	0.17	
	る	複	1.78	
	む	複	0.31	
	ト		0.68	
	ヨ		0.36	

ポロト(探勝)

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
297	い02	天	24.91	*
	ろ	複	0.76	*
	は	複	0.56	*
	に	複	1.66	*
	ほ	複	1.05	*
	へ	複	1.87	*
	と	複	0.79	*
	ち	複	1.03	*
	り	複	1.50	*
	ぬ	複	2.02	*
	わ	複	3.83	*
	か	複	1.01	*
	よ	複	1.14	*
	た	複	2.11	*
	れ	複	0.84	*
	そ	天	11.77	
	つ	複	1.84	*
	ね	複	0.65	*
	な	複	0.20	*
	イ		0.20	*
ロ		0.10	*	
ハ		0.01	*	
ニ		0.05	*	
ホ		0.63	*	
ヘ		1.02	*	

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
297	チ		1.43	*
	ヌ		0.63	*
	ル		31.64	*
	ワ		0.52	*
	カ		0.01	*

【野外スポーツ地域】

モーラップスポーツ林

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
1309	い	天	13.63	
	ろ	天	2.35	
	は	複	7.07	
	に	複	1.45	
	ほ	複	1.51	
	へ	複	0.38	
	と	複	12.43	
	イ		0.72	
	ロ		0.01	
	ハ		0.03	
1310	い	複	17.06	
	ろ	複	2.39	
	は	複	5.51	
	イ		0.18	
	ロ		0.02	
	ハ		0.55	
	ホ		0.10	
	ヘ		0.14	
	ト		0.16	
	チ		0.02	
1311	い01	天	4.14	
	い02	天	1.89	
	ろ	複	6.01	
	は	複	2.02	
	に	複	1.83	
	ほ	複	3.84	
	へ	複	4.77	
	と	複	0.29	
	ち	複	0.33	
	り	複	8.22	
ぬ	複	0.78		
イ		0.16		
ロ		0.28		
ハ		0.98		
1312	い	天	14.37	
	ろ	複	5.98	
	は	複	10.37	
	に	複	1.20	
	ほ	複	1.92	
へ	複	8.96		
と	複	2.80		

施業方法 単=育成単層林施業 複=育成複層林施業 天=天然生林施業
 (観察)=自然観察教育ゾーン (森ス)=森林スポーツゾーン (野ス)=野外スポーツゾーン (風景)=風景ゾーン (探勝)=風致探勝ゾーン

【風景林】

口無

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
1312	イ		0.04	
1313	い01	天	25.43	
	い02	天	0.52	
	ろ	複	0.60	
	は	複	0.15	
	に	複	0.30	
	イ		7.16	
	口		0.83	
1314	い	天	14.67	
	ろ	天	0.53	
	は	複	0.91	
	に	複	0.72	
	ほ	複	0.75	
	へ	複	1.08	
	ち	複	0.16	
1315	い	天	13.88	
	ろ	天	3.94	
	は	複	1.78	
	に	複	0.09	
	ほ	複	3.23	
	へ	複	0.35	
	と	複	1.06	
	ち	複	3.56	
	り	複	8.42	
	1316	い	複	16.01
ろ		複	0.87	
は		複	0.05	
に		複	0.04	
ほ		複	0.47	
へ		複	1.66	
イ			0.20	
口			0.08	
1317	ハ		0.67	
	ト		0.10	
	い	複	2.43	
	ろ	複	19.45	
	は	複	1.24	
	に	複	2.70	
	ほ	複	1.50	
	へ	複	0.09	
	と	複	0.64	
	ち	複	1.26	
1318	り	複	0.40	
	イ		0.12	
	口		0.26	
	ハ		0.10	
	い	天	2.22	
	ろ	複	0.20	
	は	複	23.94	
ほ	複	4.16		
へ	複	3.28		
と	複	2.35		
ち	複	5.78		
イ		0.37		

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
1389	ほ	複	0.63	
	へ	複	0.69	
1390	い01	天	2.54	
	に	複	1.12	
1391	ほ	複	0.62	
	へ	複	2.19	
	ち	複	0.16	
1394	に	複	0.44	
	わ	複	1.56	
1443	い	天	0.56	
	に	複	6.81	
	口		6.83	
1444	い01	天	2.40	
	い02	天	0.36	
	は	複	0.27	
	ほ	複	0.81	
	へ	複	0.24	
	と	複	0.33	
	ち01	複	0.69	
	ち02	複	3.07	
	り	複	0.10	
	ぬ	複	0.10	
る	複	0.70		
わ	複	0.80		
よ	複	0.30		
た	複	0.20		
れ	複	0.20		
つ	複	0.30		
ね	複	0.16		
ハ		0.29		
ホ		0.31		
へ		0.01		

植苗

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
3183	い	天	38.45	
	ろ	天	18.99	
	は01	天	85.79	
	は02	天	11.23	
	は03	天	53.98	
	に	天	0.20	
	ほ01	天	18.98	
	ほ02	天	17.59	
	イ		3.09	
	口		0.30	
	ハ		7.41	
	ニ		0.18	

支笏湖

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
1334	い02	天	0.85	
	イ02		0.04	
	口		0.02	
1335	い	天	4.07	
	イ		0.02	

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
1335	口		0.23	
1339	い	天	1.52	
	イ02		0.04	
	口01		0.09	
1340	い	天	12.19	
	イ		1.04	
	口02		0.04	
1381	い	天	5.45	
	イ		0.53	
1445	い	天	1.72	
	イ		0.14	
	口		0.03	

苫小牧

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
1212	い	複	2.56	
	イ02		0.15	
1214	い	複	1.82	
1242	い	複	13.89	
	ほ	複	1.19	
1279	い	天	1.87	
	に	複	1.00	
	ほ	複	0.46	
	イ02		0.32	
	口		0.34	
1280	ハ		0.07	
	い	複	4.32	
	口03		0.40	
	い	複	5.69	
1281	イ02		0.07	
	ち	複	4.93	
	る	複	1.08	
	口02		0.30	
1282	ハ02		0.10	
	い	複	5.27	
	に	複	1.17	
	ほ	複	0.23	
	と	複	0.10	
1283	ぬ	複	0.20	
	イ02		0.18	
	ハ		2.55	
	ニ02		0.17	
	ろ	複	3.07	
	は	複	1.06	
1285	ほ	複	4.55	
	口		1.42	
	ハ02		0.06	
	い	天	0.32	
1286	ろ	複	2.45	
	は	複	1.14	
	へ	複	5.27	
1286	イ		0.01	
	口		1.41	
1287	ろ	複	0.18	
	は	複	3.09	

施業方法 単=育成単層林施業 複=育成複層林施業 天=天然生林施業

(観察)=自然観察教育ゾーン (森ス)=森林スポーツゾーン (野ス)=野外スポーツゾーン (風景)=風景ゾーン (探勝)=風致探勝ゾーン

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
1287	に	複	0.20	
	ほ	複	0.12	
	へ	複	0.17	
	と	複	0.14	
	わ	複	4.13	
	イ		0.01	
	口		1.46	
	ハ02		0.06	
1288	い01	天	0.71	
	ろ	複	0.95	
	は	複	2.78	
	に	複	0.20	
	ほ	複	0.19	
	へ	複	0.90	
	ぬ	複	1.24	
	イ		1.41	
1289	い01	天	1.66	
	ろ	複	0.14	
	は	複	0.57	
	に	複	0.13	
	ほ	複	1.03	
	へ	複	0.32	
	と	複	0.38	
	ち	複	0.06	
	イ		1.15	
	口		0.32	
	ハ01		0.13	
	ハ02		0.01	
1290	い01	複	4.19	
	へ	複	0.19	
	イ		1.40	
	口02		0.03	
	ハ01		0.31	
	ハ02		0.03	
1291	い	複	1.67	
	ろ	複	0.35	
	イ02		0.05	
	口		0.97	
1293	ろ	複	0.96	
	に	複	2.82	
	ほ	複	0.69	
	と	複	0.53	
	ち	複	0.52	
	ぬ	複	1.24	
	た	複	1.60	
	そ	複	0.90	
	イ02		0.11	
	口		2.03	
1294	は	複	0.49	
	に	複	4.84	
	ほ	複	0.41	
	り	複	0.17	
	ぬ	複	3.59	
	た	複	0.30	
	そ	複	0.22	

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
1294	口		1.93	
1295	は	複	0.58	
	に	複	1.88	
	ほ	複	3.30	
	へ	複	0.23	
	る	複	3.48	
	口		1.95	
	イ03	天	0.54	
1296	ろ	複	0.21	
	は	複	0.28	
	に	複	8.30	
	口		2.00	
	ろ	複	0.17	
1297	は	複	3.80	
	に	複	4.08	
	ほ	複	0.56	
	り	複	0.34	
	イ02		0.07	
	口		1.95	
	イ02	天	0.38	
1298	ろ	複	1.13	
	は	複	0.37	
	に	複	0.30	
	ほ	複	0.21	
	と	複	0.04	
	ち	複	0.97	
	り	複	1.60	
	わ	複	0.08	
	そ	複	1.31	
	ね	複	0.12	
	な	複	0.32	
	ら	複	0.53	
	む	複	0.33	
	う	複	0.11	
	お	複	0.81	
	イ02		0.08	
	ハ		1.43	
1300	ろ	複	3.85	
	は	複	4.22	
	へ	複	0.82	
	イ		2.12	
1301	ろ	複	8.11	
	に	複	1.35	
	ぬ	複	1.90	
	ハ02		0.13	
	ニ		2.29	
1302	ろ	複	8.39	
	イ02		0.06	
	口		1.85	
1303	は	複	1.04	
	る	複	7.59	
	イ02		0.09	
	口02		0.05	
	ハ		1.86	

オロフレ岳

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
33	ろ	天	41.36	
	イ		17.34	
36	い01	複	162.47	
	い02	天	9.65	
	ろ	天	33.66	
	イ		8.82	
37	い01	複	59.71	
	い02	天	4.25	
	い03	複	43.50	
	ろ	天	29.30	
38	イ		20.92	
	い01	複	134.69	
	い02	天	6.34	
39	ろ	天	28.58	
	イ		46.02	
	い01	複	140.39	
39	い02	天	3.39	
	ろ	天	20.84	

白老岳

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
111	い	天	64.04	
	ろ	天	58.29	
138	い	複	66.93	
	ろ	天	36.25	

ホロホロ山

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
97	い	複	64.13	
	ろ	天	24.71	
	は	複	20.01	
	イ		29.60	
	口		0.96	
	ハ		0.30	

白老川

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
93	ろ	天	5.37	
	口		0.24	
	ホ		0.76	
100	ろ	天	10.06	
	は	複	12.47	
	口		0.36	
	ハ01		1.77	
	ハ02		0.38	
101	ろ01	複	6.64	
	ろ02	天	0.30	
	は	複	9.79	
	ほ	複	0.06	
	と	複	0.36	
101	イ01		2.58	
	イ02		0.20	
	ろ	複	11.62	
102	イ		1.30	
103	い03	天	7.90	

施業方法 単=育成単層林施業 複=育成複層林施業 天=天然生林施業

(観察)=自然観察教育ゾーン (森ス)=森林スポーツゾーン (野ス)=野外スポーツゾーン (風景)=風景ゾーン (探勝)=風致探勝ゾーン

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
103	ろ01	複	6.65	
	ろ02	複	3.25	
	は	複	3.75	
	に	複	2.77	
	イ01		1.56	
	イ02		0.03	
	ロ		0.39	
	ニ		0.69	
104	ろ01	複	4.16	
	ろ02	複	4.90	
	に	複	1.32	
	イ		0.19	
	ロ01		0.36	
	ホ		0.48	
106	ろ	複	3.89	
	ロ		0.12	
107	い01	複	6.34	
	い02	複	33.59	
	い03	複	1.37	
	い04	天	8.23	
	い05	複	2.40	
	ろ01	複	25.43	
	ろ02	複	6.59	
	は	複	2.75	
	イ		1.31	
	ロ		1.24	
	ハ		0.83	
	ニ		0.13	
	108	い01	複	38.73
い02		複	3.70	
ろ		複	8.27	
は		天	15.64	
イ01			0.56	
イ02			0.35	
ロ			1.50	
ハ02			0.16	
109	い01	複	34.40	
	い02	複	14.62	
	い03	複	8.25	
	い04	複	12.40	
	イ		5.66	
	ロ		0.26	
115	ろ	複	3.19	
	は	複	0.88	
	へ	複	1.35	
	イ01		0.54	
	イ02		0.08	
116	ろ	天	5.52	
	に	複	0.80	
	ほ	複	3.39	
	へ	複	1.70	
	と	複	1.87	
	た	複	0.65	
	イ03		0.24	
	ロ01		1.78	

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
	ロ02		0.21	

インクラの滝

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
176	い01	天	1.27	
	い03	天	2.66	
	イ		10.50	
	ハ		0.11	
	ニ		0.16	
177	い01	天	3.75	
	ロ		8.60	

倶多楽湖

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
2	ろ	天	14.19	
	は	複	1.73	
	に	複	2.68	
	ほ	複	1.50	
	へ	天	0.94	
	イ		3.46	
	ロ		0.15	
3	ろ	天	4.07	
	と	複	2.76	
	わ	天	1.34	
	た	複	0.85	
	そ	天	0.20	
	な	複	1.59	
	イ01		0.10	
	ロ		1.49	
	ハ		0.06	
	ニ		0.87	
ホ		0.01		

【その他】

樽前山

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
1501	イ		0.78	
	ロ		0.04	
	ハ		0.47	

施業方法 単=育成単層林施業 複=育成複層林施業 天=天然生林施業

(観察)=自然観察教育ゾーン (森ス)=森林スポーツゾーン (野ス)=野外スポーツゾーン (風景)=風景ゾーン (探勝)=風致探勝ゾーン

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプ

(単位:ha)

林班	小班	施業方法	面積
14	い	天	17.06
	ろ	複	2.89
	は	複	2.00
	に	複	1.00
	ほ	複	27.53
	へ	複	5.18
	と	複	2.00
	ち	複	6.75
	り	複	9.44
	ぬ	複	7.85
	る	複	5.98
	わ	複	3.60
	か	複	2.18
	よ	複	0.85
	た	複	9.53
	れ	複	1.07
	そ	複	0.61
	つ	複	1.77
	ね	複	0.45
	な	複	0.38
	ら	複	1.58
	む	複	2.17
	う	複	0.26
	イ		0.36
	ロ		0.15
	ハ		1.41
	ニ		4.97
15	い01	複	8.00
	い02	複	33.98
	ろ	複	1.18
	は	複	1.00
	に	複	20.20
	ほ	複	20.25
イ		0.47	
16	い01	複	12.30
	い02	天	3.70
	い03	複	19.59
	ろ	複	6.26
	は	複	10.69
	に	複	10.10
	ほ	複	23.49
	へ	複	2.35
	と	複	0.50
	ち	複	2.45
	イ		0.12
	ロ		0.92
	31	い01	複
い02		天	10.70
い03		複	88.30
ろ		複	10.80
は		複	18.03

林班	小班	施業方法	面積	
31	に	複	4.50	
	ほ01	複	9.40	
	ほ02	複	11.58	
32	い01	天	5.85	
	い02	複	41.67	
	い03	複	55.75	
	い04	複	3.63	
	い05	複	6.70	
	ろ	複	9.70	
	は	複	19.25	
	に	複	15.27	
	イ		3.51	
	33	い	天	96.56
		い01	天	5.71
1146	い02	複	11.17	
	ろ	複	8.50	
	は	複	0.20	
	に	複	0.72	
	イ		0.56	
	ロ		0.35	
1147	い	天	1.28	
	ろ	複	16.82	
	は	複	22.18	
	イ		0.03	
	ロ		0.10	
1187	い	複	7.72	
	ろ	複	2.03	
	は	複	1.82	
	に	複	4.75	
	ほ	複	11.20	
	へ	複	1.04	
	と	複	1.25	
	ち	複	5.77	
	り	複	0.94	
	ロ		0.77	
1211	い	複	6.87	
	ろ	複	2.48	
	は	複	1.65	
	に	複	0.49	
	ほ	複	2.44	
	へ	複	1.44	
	と	複	0.32	
	ち	複	1.00	
	ロ		0.01	
	ハ		0.06	
	1319	い	天	7.29
ろ		複	11.64	
は		複	4.31	
に		複	2.19	
ほ		複	8.39	
へ	複	1.46		

林班	小班	施業方法	面積
1319	イ		0.23
	ロ		0.42
1320	い	複	31.30
	ろ	複	13.56
	イ		0.22
	ロ		0.48
1321	い	複	2.59
	ろ	複	15.88
	は	複	5.43
	に	複	6.18
	ほ	複	1.06
	イ		0.30
	ロ		0.12
	ハ		0.70
1322	い	天	1.53
	ろ	天	3.53
	は	複	16.40
	に	複	1.41
	へ	複	0.26
	ロ		0.50
	ハ		0.91
ニ		0.27	
1323	い01	天	0.61
	い02	天	2.41
	い03	天	3.04
	ろ	複	14.99
	は	複	4.13
	に	複	2.97
1324	イ		0.70
	ロ		0.53
	い	複	6.68
	ろ	複	21.90
	は	複	0.82
	に	複	0.63
	ほ	複	1.13
	へ	複	5.20
ロ		0.18	
ハ		4.02	
1325	い	天	0.48
	ろ	複	29.32
	は	複	7.30
	に	複	2.85
	ほ	複	0.68
	へ	複	1.66
	と	複	6.75
	ロ		0.37
ハ		0.06	
1326	い01	天	1.29
	い02	天	0.36
	ろ	複	3.71
は	複	19.69	

施業方法 単=育成単層林施業 複=育成複層林施業 天=天然生林施業

林班	小班	施業方法	面積
1326	に	複	1.28
	ほ	複	2.42
	へ	複	0.61
	と	複	1.35
	ち	複	1.89
	り	複	0.53
	ぬ01	複	5.95
	ぬ02	複	1.64
	イ		0.05
	ロ		1.00
1327	い	複	19.11
	ろ	複	14.68
	は	複	7.31
	に	複	2.15
	ほ	複	1.22
	イ		0.33
	ロ		0.07
1328	い	天	2.79
	ろ	複	1.81
	は	複	13.03
	に	複	5.09
	ほ	複	6.68
	へ	複	0.34
	イ		0.21
	ロ		0.30
1335	は	複	0.92
1340	ロ01		0.03

施業方法 単＝育成単層林施業 複＝育成複層林施業 天＝天然生林施業

附 属 资 料

(1) 林種別、伐採方法別、主伐・間伐別の伐採面積及び伐採量

林種		計画区:胆振東部森林計画区												合計			
		伐採方法				主伐				間伐							
		皆伐		漸伐		択伐		複層伐		計		間伐				合計	
伐採面積	伐採材積	伐採面積	伐採材積	伐採面積	伐採材積	伐採面積	伐採材積	伐採面積	伐採材積	伐採面積	伐採材積	伐採面積	伐採材積	伐採面積	伐採材積		
人工林	育種成林	13.17	1,919			14.49	661			61.24	2,885	61.24	661	6.20645	244,562	6,295.35	250,027
	成林		90			7.75	334				404		334	10.15	350	17.90	1,178
	計	13.17	2,009			22.24	995			61.24	3,289	61.24	995	6.21660	244,912	6,313.25	251,205
天然林	育種成林																
	成林																
	計																
無立木地	育種成林																
	成林																
	計																
林地以外	育種成林																
	成林																
	計																
合計	育種成林	13.17	1,919			14.49	661			61.24	2,885	61.24	661	6.27079	247,107	6,359.69	252,572
	成林		90			7.75	334				404		334	48.44	3,381	56.19	4,209
	計	13.17	2,009			22.24	995			61.24	3,289	61.24	995	6.31923	250,488	6,415.88	256,781
合計	育種成林																
	成林																
	計																

(2) 林種別、更新方法の区分別及び樹種別の更新面積

計画区:胆振東部森林計画区

更新方法	樹種	人		工		林		天		然		林	立		地		材積 m ³	
		育成単層林	育成複層林	育成単層林	育成複層林	計	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計		竹林	天伐跡	無	未立木地		改植予定地
単層林造成(新植)	カラマツ																	
	トドマツ	7.90				7.90												7.90
	エゾマツ																	
	他N 小計	7.90				7.90												7.90
複層林造成(新植)	カラマツ																	
	トドマツ	36.75				36.75												36.75
	他N 小計	36.75				36.75												36.75
	天然下種第1類(補込)																	
天然下種第2類	トドマツ	179.74				179.74			15.47		41.51							236.72
	他N 小計	179.74				179.74			15.47		41.51							236.72
	他L 小計	11.27				11.27												11.27
	小計	17.79				17.79												17.79
森林計画区合計		242.18			242.18			15.47		41.51							299.16	

(3) 更新量の割振り

計画区:胆振東部森林計画区

更新方法	発生理由	更新量		面積		積	
		総量	次期繰越	更新面積	次期繰越		
単層林造成 (新植)	前期発生						
	当期発生	13.17	7.90			527	
	未立木地						
	その他						
	計	13.17	7.90			527	
単層林造成 (人工下種)	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
単層林造成 (改植)	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
複層林造成 (新植)	前期発生						
	当期発生	61.24	36.75			24.49	
	未立木地						
	その他						
	計	61.24	36.75			24.49	
複層林造成 (人工下種)	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
複層林造成 (改植)	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
人工造林計	前期発生						
	当期発生	74.41	44.65			29.76	
	未立木地						
	その他						
	計	74.41	44.65			29.76	
更新方法	発生理由	更新量		面積		積	
		総量	次期繰越	更新面積	次期繰越		
	天 下 1 類 (地表処理)	前期発生					
		当期発生					
未立木地							
その他							
	計						
天 下 1 類 (刈出し)	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
天 下 1 類 (その他)	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
天 下 1 類 (植込み)	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
天 下 2 類	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
ぼ う 芽	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
天然更新計	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
計画区計	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
更新方法	発生理由	更新量		面積		積	
		総量	次期繰越	更新面積	次期繰越		
	天 下 1 類 (地表処理)	前期発生					
		当期発生					
未立木地							
その他							
	計						
天 下 1 類 (刈出し)	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
天 下 1 類 (その他)	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
天 下 1 類 (植込み)	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
天 下 2 類	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
ぼ う 芽	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
天然更新計	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						
計画区計	前期発生						
	当期発生						
	未立木地						
	その他						
	計						

その他附属資料

(1) 国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積

(単位:ha)

担当区	関係市町村	要 存 置 林 野		不要存置 林野面積	官公造林地 面積
		面 積	関 係 林 班		
白老	白老町	9,698.49	60～160,297～299		
竹浦	白老町	8,443.38	1～59		
樽前	苫小牧市	5,194.21	224～296		
	白老町	4,749.26	161～223		
	小計	9,943.47			
苫小牧	苫小牧市	5,568.21	1146～1282,3183,3186		
系井	苫小牧市	9,069.17	1283～1501		
穂別	むかわ町	9,848.97	2001～2078,2115～2127,2129, 2192,2193,2195		
稲里	むかわ町	10,467.29	2079～2114,2128～2190		
森林管理署計		63,038.98			

②保安林、自然公園等の面積

(単位:ha)

種類	細分	面積	
制限林	保安林	水源かん養保安林	58,220.26
		土砂流出防備保安林	3,029.04
		土砂崩壊防備保安林	9.88
		飛砂防備保安林	
		防風保安林	234.92
		水害防備保安林	
		潮害防備保安林	
		干害防備保安林	
		防雪保安林	
		防霧保安林	
		なだれ防止保安林	
		落石防止保安林	
		防火保安林	
		魚つき保安林	
		航行目標保安林	
	保健保安林	(1,909.57) 18.64	
	風致保安林		
	計	(1,909.57) 61,512.74	
	保安施設地区		
	砂防指定地	(18.88) 21.34	
	国立公園	特別保護地区	(105.10)
		第一種特別地域	(1,436.23) 7.09
		第二種特別地域	(1,431.45) 31.64
		第三種特別地域	(3,268.65) 32.66
		地種区分未定特別地域	
	計	(6,241.43) 71.39	
	国定公園	特別保護地区	
第一種特別地域			
第二種特別地域			
第三種特別地域			
地種区分未定特別地域			
計			

種類	細分	面積	
制限林	都道府県立自然公園	第一種特別地域	
		第二種特別地域	
		第三種特別地域	
		地種区分未定特別地域	
		計	
	原生自然環境保全地域		
	自然環境保全地域特別地区		
	都道府県自然環境保全地域特別地区		
	鳥獣保護区特別保護地区	(61.08)	
	都市緑地保全法による緑地保全地区		
	都市計画法による風致地区		
	林業種苗法による特別母樹林		
	史跡名勝天然記念物		
	種の保存法による管理地区		
	その他の制限林	(26,113.42) 472.51	
制限林計	(34,344.38) 62,077.98		
普通林	国立公園普通地区	(19,624.13)	
	国定公園普通地区		
	都道府県立自然公園普通地区		
	自然環境保全地域普通地区		
	都道府県自然環境保全地域普通地区		
	鳥獣保護区普通地区	(962.83) 56.54	
	種の保存法による監視地区		
	その他の法指定地域(普通林)	(2,202.97) 139.80	
普通林計	(22,789.93) 196.34		
法指定地域合計	(57,134.31) 62,274.32		

注) ()は、他の細分と重複関係を表している。

③林況(林種別齡級別面積、材積及び成長量)

森林計画区：003 胆振東部

区分	総数			1 級			2 級		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
	ha	m ³	m ³	ha	m ³	m ³	ha	m ³	m ³
人工林	育成単層林	N	2,344,066	64,377.5		1.1		668	122.4
		L	183,174	2,312.2				242	15.3
	計		2,527,240	66,689.7	35.47	1.1	593.30	910	137.7
	育成複層林	N	21,155	324.8				263	87.6
		L	1,173	14.2					
	計	(152.97) 152.97	22,328	339.0	7.09		22.15	263	87.6
天然林	育成単層林	N	2,365,221	64,702.3		1.1		931	210.0
		L	184,347	2,326.4				242	15.3
	計	21,893.55	2,549,568	67,028.7	42.56	1.1	615.45	1,173	225.3
	育成複層林	N							
		L							
	計								
	天然単層林	N	443,258	7,972.4		170.0		919	110.0
		L	726,299	10,920.9		9.5		169	23.8
	計	10,038.26	1,169,557	18,893.3	966.45	179.5	1,153.04	1,088	133.8
	天然複層林	N	673,954	7,816.1		2			
		L	3,221,477	36,348.3		12			
	計	27,148.40	3,895,431	44,164.4		14			
竹林	N	1,117,212	15,788.5		170.0		919	110.0	
	L	3,947,776	47,269.2		237		169	23.8	
計	37,186.66	5,064,988	63,057.7	966.45	179.5	1,153.04	1,088	133.8	
無立木地	N								
	L								
	計	5.30							
計	N	3,482,433	80,490.8		892	171.1		1,850	320.0
	L	4,132,123	49,595.6		2,366	9.5		411	39.1
計	59,085.51	7,614,556	130,086.4	1,009.01	3,258	180.6	1,768.49	2,261	359.1
林地以外 の土地	附帯地		1,124.03						
	貸地		548.99						
	雑地		2,280.45						
計	N								
	L								
計		3,953.47							
合計	N	3,482,433	80,490.8		892	171.1		1,850	320.0
	L	4,132,123	49,595.6		2,366	9.5		411	39.1
	計	63,038.98	7,614,556	130,086.4	1,009.01	180.6	1,768.49	2,261	359.1

(注) 1 ()は、複層林の上木面積
2 材積には、点生木及び被書木を含む

森林計画区：003 胆振東部

区分	3 級			4 級			5 級		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
	ha	m ³	m	ha	m ³	m	ha	m ³	m
人工林	N				77	12.4		1,766	167.2
	L				482	27.3		560	27.9
	計	70.26		112.19	559	39.7	80.38	2,326	195.1
林	N		0.3					240	23.2
	L								
	計	40.68	0.3	27.83	77	12.4	22.99	240	23.2
天然林	N							2,006	190.4
	L							560	27.9
	計	110.94	0.3	140.02	559	39.7	103.37	2,566	218.3
林地	N								
	L								
	計								
天然林	N								
	L								
	計								
竹林	N								
	L								
	計								
無立木地	N								
	L								
	計								
計	N								
	L								
	計	149.81	0.3	151.85	581	60.5	107.29	2,705	222.2
附帯地 林以外 の土地	N								
	L								
	計								
合計	N								
	L								
	計	149.81	0.3	151.85	581	60.5	107.29	2,705	222.2

(注) 1 ()は、複層林の上木面積

2 材積には、点生木及び被害木を含む

森林計画区：003 胆振東部

区分	6 級			7 級			8 級		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
	ha	m ³	m	ha	m ³	m	ha	m ³	m
人工林	N	49924	3,274.3		188,178	9,824.2		266,746	11,164.5
	L	1,753	59.4		3,754	89.2		3,312	48.5
	計	736.95	3,333.7	1,741.68	191,932	9,913.4	2,010.25	270,058	11,213.0
林	N								
	L								
	計	32.23							
天然林	N	49924	3,274.3		188,178	9,824.2		266,746	11,164.5
	L	1,753	59.4		3,754	89.2		3,312	48.5
	計	769.18	3,333.7	1,741.68	191,932	9,913.4	2,010.25	270,058	11,213.0
林地	N								
	L								
	計								
天然林	N	87	2.8		1,097	38.5		2,995	57.9
	L	25	0.1		476	11.9		3,305	65.6
	計	6.30	2.9	13.57	1,573	50.4	48.39	6,300	123.5
竹林	N							501	10.2
	L							2,484	46.4
	計	0.05		13.72	952	9.7	70.37	2,985	56.6
無立木地	N								
	L								
	計								
計	N	50011	3,277.1		189,275	9,862.7		270,242	11,232.6
	L	1,779	59.5		5,182	110.8		9,101	160.5
	計	775.53	3,336.6	1,768.97	194,457	9,973.5	2,129.01	279,343	11,393.1
附帯地 雑地	N								
	L								
	計								
林地以外 の土地	N								
	L								
	計								
合計	N	50011	3,277.1		189,275	9,862.7		270,242	11,232.6
	L	1,779	59.5		5,182	110.8		9,101	160.5
	計	775.53	3,336.6	1,768.97	194,457	9,973.5	2,129.01	279,343	11,393.1

(注) 1 ()は、複層林の上木面積

2 材積には、点生木及び被害木を含む

森林計画区：003 胆振東部

(面積:ha,材積:m,成長量:m/年)

区分	9 級			10 級			11 級		
	面積 ha	材積 m ³	成長量 m	面積 ha	材積 m ³	成長量 m	面積 ha	材積 m ³	成長量 m
人工林	N	440.042	14,630.1		495.563	12,683.9		338.907	5,622.4
	L	25,698	310.9		23,083	276.6		40,738	518.8
	計	3,683.79	14,941.0	4,277.70	518,656	12,960.5	3,120.76	379,645	6,141.2
天然林	N				1,807	45.6		198	4.2
	L			(20.20)	13	0.2	(7.09)		
	計				1,820	45.8		198	4.2
天然林	N	440.042	14,630.1		497,370	12,729.5		339,105	5,626.6
	L	25,698	310.9		23,106	276.8		40,738	518.8
	計	3,683.79	14,941.0	4,277.70	520,476	13,006.3	3,120.76	379,843	6,145.4
天然林	N								
	L								
	計								
天然林	N	18,177	421.5		14,704	409.9		15,854	448.1
	L	36,605	872.7		37,718	811.0		27,864	494.5
	計	621.67	1,294.2	51,321	52,422	1,220.9	447.72	43,718	942.6
天然林	N	41,345	877.2		2,489	56.7		347	9.0
	L	88,705	1,985.1		12,089	276.6		8,404	243.5
	計	1,315.71	2,862.3	109.34	14,558	333.3	103.67	8,751	252.5
天然林	N	59,522	1,298.7		17,193	466.6		16,201	457.1
	L	125,310	2,857.8		49,787	1,087.6		36,268	738.0
	計	1,937.38	4,156.5	622.55	66,980	1,554.2	551.39	52,469	1,195.1
無立木地	N								
	L								
	計								
計	N	499,564	15,928.8		514,563	13,196.1		355,306	6,083.7
	L	151,008	3,168.7		72,893	1,364.4		77,006	1,256.8
	計	5,621.17	19,097.5	4,900.25	587,456	14,560.5	3,672.15	432,312	7,340.5
附帯地 雑地	N								
	L								
	計								
林地 以外の 土地	N								
	L								
	計								
合計	N	499,564	15,928.8		514,563	13,196.1		355,306	6,083.7
	L	151,008	3,168.7		72,893	1,364.4		77,006	1,256.8
	計	5,621.17	19,097.5	4,900.25	587,456	14,560.5	3,672.15	432,312	7,340.5

(注) 1 ()は、複層林の上木面積

2 材積には、点生木及び被害木を含む

森林計画区：003 胆振東部

区分	12 齡 級			13 齡 級			14 齡 級			
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	
	ha	m ³	m	ha	m ³	m	ha	m ³	m	
人 工 林	N	224,190	3,095.0							
	L	26,072	310.7							
	計	2,257.13	3,405.7	744.33			207.40			
	N	196	1.2							
	L	(307)	0.8	(41.91)						
	計	261	2.0							
	N	224,386	3,096.2							
	L	26,137	311.5							
	計	2,257.13	3,407.7	744.33			207.40			
	天 然 林	N								
L										
計										
N		8,734	361.6							
L		9,110	235.1							
計		17,844	596.7	425.02			97.72			
N		327	6.4							
L		723	18.9							
計		1,050	25.3	631.56			104.86			
N		9,061	368.0							
L	9,833	254.0								
計	18,894	622.0	1,056.58			202.58				
無立木地	N									
	L									
	計									
	N	233,447	3,464.2							
	L	35,970	565.5							
	計	2,492.16	4,029.7	1,800.91			409.98			
	N									
	L									
	計									
	附帯地 雑地 の 土地	N								
L										
計										
N		233,447	3,464.2							
L		35,970	565.5							
計		2,492.16	4,029.7	1,800.91			409.98			
N										
L										
計										
合 計		N								
	L									
	計									
	N	233,447	3,464.2							
	L	35,970	565.5							
	計	2,492.16	4,029.7	1,800.91			409.98			
	N									
	L									
	計									

(注) 1 ()は、複層林の上木面積

2 材積には、点生木及び被害木を含む

森林計画区：003 胆振東部

(面積:ha,材積:m³,成長量:m³/年)

区分	15 齡 級			16 齡 級			17 齡 級		
	面積 ha	材積 m ³	成長量 m	面積 ha	材積 m ³	成長量 m	面積 ha	材積 m ³	成長量 m
人 工 林	N	37,074	481.0		83,364	918.7		63,746	701.0
	L	3,680	43.9		9,822	113.6		10,845	114.6
	計	35,591	40,754	524.9	723.94	93,186	1,032.3	74,591	815.6
天 然 林	N					2.4			
	L			(1.56)					
	計					2.4			
林 地	N	37,074	481.0		83,564	921.1		63,746	701.0
	L	3,680	43.9		9,822	113.6		10,845	114.6
	計	35,591	40,754	524.9	723.94	1,034.7	514.17	74,591	815.6
	N								
	L								
	計								
	N	35,264	575.9		9,274	236.9		64,426	894.7
	L	28,331	425.4		21,635	276.6		63,480	884.1
	計	396.29	63,595	1,001.3	208.16	30,909	513.5	127,906	1,778.8
	N	2,357	31.0		1,021	12.2		450	3.0
L	30,012	371.0		7,178	72.7		5,070	34.1	
計	228.46	32,369	402.0	44.05	84.9		115.28	37.1	
N	37,621	606.9		10,295	249.1		64,876	897.7	
L	58,343	796.4		28,813	349.3		68,550	918.2	
計	624.75	95,964	1,403.3	252.21	39,108	598.4	133,426	1,815.9	
無立木地	N								
	L								
	計								
計	N	74,695	1,087.9		93,859	1,170.2		128,622	1,598.7
	L	62,023	840.3		38,635	462.9		79,395	1,032.8
	計	980.66	136,718	1,928.2	976.15	132,494	1,633.1	208,017	2,631.5
附帯地 林以外 の土地	N								
	L								
	計								
合 計	N	74,695	1,087.9		93,859	1,170.2		128,622	1,598.7
	L	62,023	840.3		38,635	462.9		79,395	1,032.8
	計	980.66	136,718	1,928.2	976.15	132,494	1,633.1	208,017	2,631.5

(注) 1 ()は、複層林の上木面積

2 材積には、点生木及び被害木を含む

森林計画区：003 胆振東部

区分	18 齢 級			19 齢 級			20 齢 級		
	面積 ha	材積 m ³	成長量 m	面積 ha	材積 m ³	成長量 m	面積 ha	材積 m ³	成長量 m
人工林	N	26687	288.5		11,139	111.6		10,111	94.4
	L	2,513	30.1		2,473	27.6		5,653	56.0
	計	180,33	318.6	128.24	13,612	139.2	109.51	15,764	150.4
	N	2,390	21.6		6,182	61.8		3,908	35.2
	L	(15.23)		(29.16)	472	5.7		509	6.1
	計	2,390	21.6		6,654	67.5	(34.75)	4,417	41.3
	N	29,077	310.1		17,321	173.4		14,019	129.6
	L	2,513	30.1		2,945	33.3		6,162	62.1
	計	180,33	340.2	128.24	20,266	206.7	109.51	20,181	191.7
	天然林	N							
L									
計									
N		8,036	316.1		7,097	147.3		3,192	102.9
L		16,959	247.3		13,630	244.3		7,584	128.8
計		176,57	563.4	149.66	20,727	391.6	76.15	10,776	231.7
N		6,045	82.0		3,815	59.4		512	10.6
L		31,959	463.7		31,831	284.5		5,111	66.2
計		357,81	545.7	205.01	35,646	323.9	51.14	5,623	76.8
N		14,081	398.1		10,912	206.7		3,704	113.5
L	48,918	711.0		45,461	508.8		12,695	195.0	
計	534,38	1,109.1	354.67	56,373	715.5	127.29	16,399	308.5	
竹林	N								
	L								
	計								
無立木地	N								
	L								
	計								
計	N	43,158	708.2		28,233	380.1		17,723	243.1
	L	51,431	741.1		48,406	542.1		18,857	257.1
	計	714,71	1,449.3	482.91	76,639	922.2	236.80	36,580	500.2
附帯地 貸地 雑地	N								
	L								
	計								
計	N	43,158	708.2		28,233	380.1		17,723	243.1
	L	51,431	741.1		48,406	542.1		18,857	257.1
	計	94,589	1,449.3	482.91	76,639	922.2	236.80	36,580	500.2
合計	N	714,71	1,449.3	482.91	76,639	922.2	236.80	36,580	500.2
	L								
	計								

(注) 1 ()は、複層林の上木面積
2 材積には、点生木及び被害木を含む

区分		21 齡級以上			成長量 m
		面積 ha	材積 m ³	材積以上 m	
人工林	育成 単層林	N	5.198	46.8	
		L	2.951	35.5	
	計	56.89	8.149	82.3	
林	育成 複層林	N			
		L			
	計				
天然林	育成 単層林	N	5.198	46.8	
		L	2.951	35.5	
	計	56.89	8.149	82.3	
天然林	育成 複層林	N			
		L			
	計				
天然林	天然 生林	N	221.489	2,850.1	
		L	419.357	5,478.8	
	計	3,711.93	640.846	8,328.9	
林	天然 生林	N	612.472	6,626.5	
		L	2,962.942	31,887.2	
	計	23,768.81	3,575.414	38,513.7	
竹林	天然 生林	N	833.961	9,476.6	
		L	3,382.299	37,366.0	
	計	27,480.74	4,216.260	46,842.6	
無立木地	竹林	N			
		L			
	計				
計	附帯地 貸地 雑地	N	839.159	9,523.4	
		L	3,385.250	37,401.5	
	計	27,537.63	4,224.409	46,924.9	
林地 以外の 土地	附帯地 貸地 雑地	N			
		L			
	計				
合計	合計	N	839.159	9,523.4	
		L	3,385.250	37,401.5	
	計	27,537.63	4,224.409	46,924.9	

(注) 1 ()は、複層林の上木面積

2 材積には、点生木及び被害木を含む

(2)機能類型別の国有林野の現況

森林計画区:003 胆振東部

(単位:面積 ha,材積 m)

林種	機能類型		山地災害防止タイプ						快速環境形成タイプ		水源涵養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合計	
	面積	材積	土砂流出崩壊防備		気象害防備		面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
			面積	材積	面積	材積												
人工林	育成単層林	1,020.90	123,339	61.46	6,201	1,082.36	129,940			19,593.16	2,278,901	53.24	6,826	1,011.82	111,973	21,740.58	2,527,240	
	育成複層林	15.23	2,390			15.23	2,390			79.88	11,008			57.86	8,930	152.97	22,328	
	小計	1,036.13	125,729	61.46	6,201	1,097.59	131,930			19,673.04	2,289,909	53.24	6,826	1,069.68	120,903	21,893.55	2,549,568	
天然林	育成単層林																	
	育成複層林	541.56	88,071			541.56	88,071			9,159.38	1,054,371	103.59	11,670	233.73	15,445	10,038.26	1,169,557	
	天然生林	4,743.14	820,239	1.48	303	4,744.62	820,542			17,457.56	2,607,577	2,523.30	179,004	2,422.92	288,308	27,148.40	3,895,431	
小計	5,284.70	908,310	1.48	303	5,286.18	908,613			26,616.94	3,661,948	2,626.89	190,674	2,656.65	303,753	37,186.66	5,064,988		
無立木地										5.30						5.30		
竹林																		
林地計	6,320.83	1,034,039	62.94	6,504	6,383.77	1,040,543			46,295.28	5,951,857	2,680.13	197,500	3,726.33	424,656	59,085.51	7,614,556		
林地以外	699.14				699.14				2,085.27		801.09			367.97		3,953.47		
合計	7,019.97	1,034,039	62.94	6,504	7,082.91	1,040,543			48,380.55	5,951,857	3,481.22	197,500	4,094.30	424,656	63,038.98	7,614,556		

(3) 林道等の現況

(単位:km)

区 分	林 道			森林作業道
	自動車道	軽車道	合 計	
延 長	531		531	912

(4) 収獲予想表

カラムツ人工林(旧石狩地域施業計画区)

単位:胸高直径cm,樹高m,材積m³

林 齢	主 林 木				副 林 木				主副林木計		総 収 獲	
	平 均		ha当たり		ha当たり				ha当たり		ha当たり	
	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹材積	幹材積成長		幹材積	幹材積 累 計	幹材積	平 均 成 長 量	幹材積	平 均 成 長 量
連 年					平 均							
5	2.3	2.6	1,845									
10	7.5	6.6	1,500	24	8.0	2.4			24	2.4	24	2.4
15	11.6	10.1	1,180	65		4.3	9	9	74	4.9	74	4.9
20	14.8	12.6	920	99	6.8	5.0	15	24	114	5.7	123	6.2
25	17.2	14.6	760	125	5.2	5.0	15	39	140	5.6	164	6.6
30	19.1	16.1	660	147	4.4	4.9	13	52	160	5.3	199	6.6
35	20.7	17.2	580	161	2.8	4.6	13	65	174	5.0	226	6.5
40	22.2	17.9	520	172	2.2	4.3	12	77	184	4.6	249	6.2
45	23.4	18.5	480	181	1.8	4.0	9	86	190	4.2	267	5.9
50	24.4	19.1	450	190	1.8	3.8	8	94	198	4.0	284	5.7
55	25.1	19.5	430	196	1.2	3.6	6	100	202	3.7	296	5.4
60	25.6	19.8	420	202	1.2	3.4	3	103	205	3.4	305	5.1

注) 旧石狩地域施業計画区 皆用を掲載した。

カラムツ長伐期人工林(旧石狩地域施業計画区)

単位:胸高直径cm,樹高m,材積m³

林 齢	主 林 木				副 林 木				主副林木計		総 収 獲	
	平 均		ha当たり		ha当たり				ha当たり		ha当たり	
	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹材積	幹材積成長		幹材積	幹材積 累 計	幹材積	平 均 成 長 量	幹材積	平 均 成 長 量
連 年					平 均							
5	2.3	2.6	1,845									
10	7.5	6.6	1,500	24	8.2	2.4			24	2.4	24	2.4
15	11.6	10.1	1,180	65		4.3	9	9	74	4.9	74	4.9
20	14.8	12.6	920	99	6.8	5.0	15	24	114	5.7	123	6.2
25	17.3	14.6	746	125	5.2	5.0	17	41	142	5.7	166	6.6
30	19.8	16.1	625	149	4.8	5.0	17	58	166	5.5	207	6.9
35	22.3	17.2	529	170	4.2	4.9	19	77	189	5.4	247	7.1
40	24.6	17.9	453	183	2.6	4.6	19	96	202	5.1	279	7.0
45	26.6	18.5	394	191	1.6	4.2	18	114	209	4.6	305	6.8
50	28.5	19.1	348	200	1.8	4.0	17	131	217	4.3	331	6.6
55	30.0	19.5	313	203	0.6	3.7	15	146	218	4.0	349	6.3
60	31.3	19.9	286	205	0.4	3.4	13	159	218	3.6	364	6.1
65	32.4	20.2	266	207	0.4	3.2	11	170	218	3.4	377	5.8
70	33.2	20.5	252	209	0.4	3.0	9	179	218	3.1	388	5.5
75	33.8	20.8	242	211	0.4	2.8	7	186	218	2.9	397	5.3
80	34.2	21.0	236	213	0.4	2.7	5	191	218	2.7	404	5.1

注) 旧石狩地域施業計画区を掲載した。

カラマツ人工林(旧日高地域施業計画区Ⅱ)

単位:胸高直径cm,樹高m,材積m³

林 齢	主 林 木					副 林 木		主副林木計		総 収 穫		
	平 均		ha当たり		ha当たり		ha当たり		ha当たり			
	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹材積	幹材積成長		幹材積	幹材積 累 計	幹材積	平 均 成 長 量	幹材積	平 均 成 長 量
					連 年	平 均						
10	7.7	6.9	1,807	32	9.0 6.0 5.8 5.4 4.4 3.6 3.2 3.0 2.2 2.0 1.8	3.2						
15	11.7	10.6	1,300	77		5.1	16	16	93	6.2	93	6.2
20	14.9	13.2	937	107		5.4	22	38	129	6.5	145	7.3
25	17.5	15.3	754	136		5.4	19	57	155	6.2	193	7.7
30	19.6	16.9	647	158		5.3	15	72	173	5.8	230	7.7
35	21.2	18.1	577	176		5.0	13	85	189	5.4	261	7.5
40	22.7	19.0	527	192		4.8	11	96	203	5.1	288	7.2
45	23.8	19.7	494	207		4.6	9	105	216	4.8	312	6.9
50	24.8	20.4	468	218		4.4	8	113	226	4.5	331	6.6
55	25.7	20.9	446	228		4.1	7	120	235	4.3	348	6.3
60	26.4	21.3	429	237		4.0	6	126	243	4.1	363	6.1

注) 旧日高地域施業計画区Ⅱ皆用を掲載した。

カラマツ長伐期人工林(旧日高地域施業計画区)

単位:胸高直径cm,樹高m,材積m³

林 齢	主 林 木					副 林 木		主副林木計		総 収 穫		
	平 均		ha当たり		ha当たり		ha当たり		ha当たり			
	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹材積	幹材積成長		幹材積	幹材積 累 計	幹材積	平 均 成 長 量	幹材積	平 均 成 長 量
					連 年	平 均						
10	7.7	6.9	1,807	33	9.0 6.2 5.8 5.8 5.6 4.2 3.0 2.4 1.6 1.0 0.6 0.4 0.4 0.4 0.4	3.3						
15	11.7	10.6	1,300	78		5.2	16	16	94	6.3	94	6.3
20	14.9	13.2	937	109		5.5	23	39	132	6.6	148	7.4
25	17.9	15.3	738	138		5.5	21	60	159	6.4	198	7.9
30	20.6	16.9	618	167		5.6	19	79	186	6.2	246	8.2
35	22.9	18.1	529	188		5.4	19	98	207	5.9	285	8.2
40	25.0	19.0	459	203		5.1	20	118	223	5.6	321	8.0
45	27.0	19.7	403	215		4.8	19	137	234	5.2	352	7.8
50	28.8	20.4	357	223		4.5	19	156	242	4.8	379	7.6
55	30.4	20.9	320	228		4.1	18	174	246	4.5	402	7.3
60	31.9	21.3	290	231		3.9	16	190	247	4.1	421	7.0
65	33.1	21.7	267	233		3.6	14	204	247	3.8	437	6.7
70	34.0	22.0	252	235		3.4	12	216	247	3.5	451	6.4
75	34.6	22.3	242	237		3.2	10	226	247	3.3	463	6.2
80	35.0	22.6	236	239		3.0	8	234	247	3.1	473	5.9

注) 旧日高地域施業計画区を掲載した。

トドマツ人工林(旧日高地域施業計画区Ⅱ)

単位:胸高直径cm,樹高m,材積m³

林 齢	主 林 木				副 林 木		主副林木計		総 収 穫			
	平 均		ha当たり		ha当たり		ha当たり		ha当たり			
	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹材積	幹材積成長		幹材積	幹材積 累 計	幹材積	平 均 成 長 量	幹材積	平 均 成 長 量
連 年					平 均							
25	8.5	7.4	2,023	58	5.6	2.3			58	2.3	58	2.3
30	11.1	9.3	1,562	86	5.6	2.9	10	10	96	3.2	96	3.2
35	13.5	11.0	1,239	114	6.0	3.3	12	22	126	3.6	136	3.9
40	15.8	12.6	1,005	144	5.6	3.6	12	34	156	3.9	178	4.5
45	18.1	14.0	833	172	5.2	3.8	13	47	185	4.1	219	4.5
50	20.4	15.4	706	198	5.0	4.0	14	61	212	4.2	259	5.2
55	22.7	16.7	608	223	4.6	4.1	14	75	237	4.3	298	5.4
60	24.9	17.8	531	247	4.6	4.1	14	89	261	4.3	336	5.6
65	27.0	18.9	472	268	3.8	4.1	13	102	281	4.3	370	5.7
70	28.9	19.9	424	288	3.0	4.1	13	115	301	4.3	403	5.8
75	30.7	20.7	385	304	3.0	4.0	13	128	317	4.2	432	5.8
80	32.3	21.5	353	319	2.8	4.0	12	140	331	4.1	459	5.7
85	33.9	22.3	327	333		3.9	12	152	345	4.1	485	5.7

注) 旧日高地域施業計画区Ⅱ皆用を掲載した。

アカエゾマツ人工林(旧日高地域施業計画区Ⅱ)

単位:胸高直径cm,樹高m,材積m³

林 齢	主 林 木				副 林 木		主副林木計		総 収 穫			
	平 均		ha当たり		ha当たり		ha当たり		ha当たり			
	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹材積	幹材積成長		幹材積	幹材積 累 計	幹材積	平 均 成 長 量	幹材積	平 均 成 長 量
連 年					平 均							
35	10.6	9.4	1,695	81	4.8	2.3	6	6	87	2.5	87	2.5
40	12.5	11.0	1,343	105	4.8	2.6	10	16	115	2.6	121	3.0
45	14.7	12.4	1,094	129	4.8	2.8	11	27	140	3.1	156	3.5
50	16.7	13.7	911	153	4.6	3.1	12	39	165	3.3	192	3.8
55	18.7	14.9	776	176	4.4	3.2	12	51	188	3.4	227	4.1
60	20.6	16.1	672	198	4.4	3.3	12	63	210	3.5	261	4.4
65	22.5	17.2	593	220	4.2	3.4	12	75	232	3.6	295	4.5
70	24.3	18.2	530	241	4.0	3.4	12	87	253	3.6	328	4.7
75	26.0	19.1	480	261	3.6	3.5	11	98	272	3.6	359	4.8
80	27.6	19.9	440	279	3.6	3.5	11	109	290	3.6	388	4.9
85	29.3	20.7	407	297	3.2	3.5	11	120	308	3.6	417	4.9
90	30.7	21.4	380	313	3.2	3.5	10	130	323	3.6	443	4.9
95	32.1	22.1	358	329	3.2	3.5	9	139	338	3.6	468	4.9
100	33.5	22.7	339	345		3.5	8	147	353	3.5	492	4.9

注) 旧日高地域施業計画区Ⅱ皆用を掲載した。

トマツ人工林(旧日高地域施業計画区)

単位:胸高直径cm,樹高m,材積m³

林 齡	主 林 木				副 林 木		主副林木計		総 収 穫			
	平 均		ha当たり		ha当たり		ha当たり		ha当たり			
	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹材積	幹材積成長		幹材積	幹材積 累 計	幹材積	平 均 成 長 量	幹材積	平 均 成 長 量
					連 年	平 均						
25	9.6	8.2	1,689	66	6.4	2.6			66	2.6	66	2.6
30	12.3	10.2	1,314	98	6.4	3.3	12	12	110	3.7	110	3.7
35	14.9	11.9	1,051	130	6.4	3.7	12	25	143	4.1	155	4.4
40	17.3	13.7	860	162	6.4	4.1	14	39	176	4.4	201	5.0
45	19.8	15.2	719	193	6.2	4.3	14	53	207	4.6	246	5.5
50	22.2	16.6	613	221	5.6	4.4	14	67	235	4.7	288	5.8
55	24.5	17.9	532	247	5.2	4.5	15	82	262	4.8	329	6.0
60	26.9	19.0	468	272	5.0	4.5	15	97	287	4.8	369	6.2
65	29.0	20.1	419	296	4.8	4.6	14	111	310	4.8	407	6.3
70	30.9	21.1	378	315	3.8	4.5	13	124	328	4.7	439	6.3
75	32.7	21.9	345	331	3.2	4.4	13	137	344	4.6	468	6.2
80	34.4	22.7	319	347	3.2	4.3	12	149	359	4.5	496	6.2
85	36.1	23.5	296	362	3.0	4.3	12	161	374	4.4	523	6.2

注) 旧日高地域施業計画区を掲載した。

アカエゾマツ人工林(旧日高地域施業計画区)

単位:胸高直径cm,樹高m,材積m³

林 齡	主 林 木				副 林 木		主副林木計		総 収 穫			
	平 均		ha当たり		ha当たり		ha当たり		ha当たり			
	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹材積	幹材積成長		幹材積	幹材積 累 計	幹材積	平 均 成 長 量	幹材積	平 均 成 長 量
					連 年	平 均						
35	12.1	10.8	1,406	104	6.4	3.0	13	13	117	3.3	117	3.3
40	14.6	12.5	1,118	138	5.8	3.4	14	27	150	3.8	163	4.1
45	17.1	13.9	916	165	5.8	3.7	14	41	179	4.0	206	4.6
50	19.4	15.3	768	194	5.4	3.9	14	55	208	4.2	206	4.6
55	21.6	16.7	657	221	5.2	4.0	16	71	237	4.3	292	5.3
60	23.7	17.9	572	247	5.0	4.1	16	87	263	4.4	334	5.6
65	25.7	19.0	506	272	4.8	4.2	14	101	286	4.4	373	5.7
70	27.7	20.0	453	296	4.4	4.2	14	115	310	4.4	411	5.9
75	29.6	20.9	412	318	4.2	4.2	13	128	331	4.4	446	5.9
80	31.3	21.9	379	339	4.0	4.2	13	141	352	4.4	480	6.0
85	32.7	22.5	352	359	3.8	4.2	13	154	372	4.4	513	6.0
90	35.0	23.2	330	378	3.8	4.2	12	116	390	4.3	544	6.0
95	36.6	23.9	312	397	3.8	4.2	10	176	407	4.3	573	6.0
100	38.2	24.7	296	416	3.8	4.2	10	186	426	4.3	602	6.0

注) 旧日高地域施業計画区を掲載した。

広葉樹人工林

単位：胸高直径cm,樹高m,材積m³

林 齡	主 林 木			副 林 木		主 副 林木計	総 収 穫	
	幹材積	連 年 成長量	年平均 成長量	幹材積	幹材積 累 計	幹材積	幹材積	平 均 成長量
15	51	3.4	3.4			51	51	3.4
20	68		4.0	3.4	12	12	80	80
25	88	3.6	3.5	11	23	99	111	4.4
30	106		3.0	3.5	9	32	115	138
35	121	2.6	3.5	8	40	129	161	4.6
40	134		2.4	3.4	6	46	140	180
45	146	2.2	3.2	4	50	150	196	4.4
50	157		2.0	3.1	4	54	161	211
55	168	2.0	3.1	3	57	171	225	4.1
60	178		2.0	3.0	3	60	181	238
65	188	2.0	2.9	2	62	190	250	3.8
70	198		1.8	2.8			198	260
75	207	1.8	2.8			207	269	3.6
80	216		1.8	2.7			216	278
85	225	1.8	2.6			225	287	3.4
90	234		1.8	2.6			234	296
95	243	1.8	2.6			243	305	3.2
100	252		1.6	2.5			252	314
105	260	1.6	2.5			260	322	3.1
110	268		1.6	2.4			268	330
115	276	1.6	2.4			276	338	2.9
120	284		1.6	2.4			384	346

(5) 地元施設等の現況

(単位: ha)

区分	分収造林		共用林野				貸地										合計	
	契約に基づく分収林	分収育林	普通	薪炭	放牧	合計	植樹用地	農耕地	鉱業用地	道路用地	水路用地	電気事業用地	温泉用地	学校用地	採草用地	建物用地		その他貸地
面積	81.18	84.30	-	-	-	-	-	-	-	45.58	2.43	472.08	-	-	-	0.07	28.83	548.99

用語の解説

用語の解説

【あ行】

育成単層林（いくせいたんそうりん）

森林を構成する林木の一定のまとまりを一度に全部伐採（皆伐）し、植栽やぼう芽により更新を行い、保育、間伐等の作業を積極的に行って育成される単一の樹冠層で構成される森林。
⇒ 育成複層林、天然生林

育成天然林（いくせいてんねんりん）

育成複層林の一種で、森林を構成する林木を択伐等により部分的に伐採し、人の手により更新作業を実施し、複数樹冠層を構成する森林として成立させ、維持していく森林づくり（育成複層林施業）が行われている天然林で、樹齢や樹高の異なる樹木によって構成される。

育成複層林（いくせいふくそうりん）

森林を構成する林木を部分的に伐採（択伐）し、植栽や地表のかき起こし等の更新補助作業を行い、保育、間伐等の作業を積極的に行って育成される複数の樹冠層で構成される森林。一度に全部を伐採しないことから、裸地となる面積が少なく、公益的機能の維持増進が図られる。
⇒ 育成単層林、天然生林

うっ閉（うっぺい）

隣り合う林木の樹冠が相接してすきまがなくなった状態。

【か行】

皆伐（かいばつ）

主伐のひとつで、一定区域の林木の全部又は大部分を一度に伐採すること。
⇒ 主伐

かき起こし（かきおこし）

種子が地表に落下した時に、容易に発芽・生育できるよう、地表を耕耘し、ササ等の下層植生を除去する作業のこと。通常はブルドーザなどの重機を用いる。

下層植生（かそうしょくせい）

森林の下層に生育している植物のこと。

間伐（かんばつ）

林木の育成過程で林分内の密度を下げるために行う間引きのこと。林木同士の競合を緩和し、成長量の増大や林木の利用価値の向上、森林の有する諸機能の維持増進のために行う。
⇒ 列状間伐

胸高直径（きょうこうちようけい）

立木材積測定に用いられ、成人の胸の高さの位置の樹木の直径をいう。北海道では地上1.3mの高さの位置の直径をいう。

郷土樹種（きょうどじゆしゆ）

その地方の生育環境に適応し、自然状態で分布している樹種。

機能類型（きのうるいけい）

個々の国有林野の土地について、その有する諸機能のうち第一に発揮すべき機能によって「水源涵養タイプ」、「山地災害防止タイプ」、「自然維持タイプ」、「森林空間利用タイプ」、「快適環境形成タイプ」に類型区分し、管理経営の主目的を明確化した上で、各機能類型に応じた森林整備や森林保護、土地管理等を統一的、合理的に行っていく。

原木（げんぼく）

製材、合板、パルプなどの原料として用いられる丸太。

公益的機能（こうえきてききのう）

森林の持つ様々な機能のうち、水源かん養、山地災害防止、生物多様性の保全、生活環境保全、保健文化など、木材等生産機能を除く諸機能のこと。

公益的機能維持増進協定（こうえきてききのういじぞうしんきやうてい）

国有林の有する公益的機能の維持増進を図るため必要と認めるときに、国有林と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林の森林所有者等と協定（公益的機能維持増進協定）を締結して、当該協定に係る森林の整備及び保全を行うことができるものとする。

更新（こうしん）

伐採等により樹木が無くなった場所を樹木の生えた状態にすること。
⇒ 人工造林、天然更新

高性能林業機械（こうせいのうりんぎようきかい）

立木の伐倒や枝払い、玉切り、集材など、森林での丸太生産の作業の効率化、身体への負担の軽減等、性能が著しく高い林業機械。

【主な高性能林業機械と作業システム】

パターンA



ハーベスタ（倒す、枝を切る、長さを揃える）



フォワーダ（積み込む、運ぶ）

パターンB



フェランチャ（倒す）



スキッダ（集める）



プロセッサ（枝を切る、長さを揃える）

国立公園（こくていこうえん）

国立公園に準ずる自然景観の優れたところで、都道府県知事の申し出により、環境大臣が指定し、都道府県知事が管理する自然公園。
⇒ 自然公園

国有林の地域別の森林計画（こくゆうりんのちいきべつものしんりんけいかく）

全国森林計画に即し、森林法第7条2の規定により森林管理局長が森林計画区別に、5年ごとに10年を1期として立てる計画。森林の整備、伐採、造林、間、保育、公益的機能別施業森林、林道などについて定めることとされている。

国有林野の管理経営に関する基本計画

（こくゆうりんやのかんりけいえいにかんするきほんけいかく）

国有林野の管理経営に関する基本方針等を明らかにするため、農林水産大臣が5年ごとに定める10年を一期とする計画。

国有林野施業実施計画（こくゆうりんやせぎょうじっしけいかく）

森林管理局長が個々の森林の管理経営及び森林施業について規定する計画で、森林計画区ごとに地域管理経営計画に即して策定され、実質的に、収穫、造林をはじめとする国有林野の諸事業を規制する根拠となる5年間の計画。

国立公園（こくりつこうえん）

自然公園法に基づき環境大臣が指定して管理する大規模な自然公園。
⇒ 自然公園

コンテナ苗（コンテナなえ）

細長いプラスチック容器等で育成した苗木で、土付きで植栽することができ、一般的な苗木より活着が良好とされており、植栽可能期間が長いこと、作業期間の分散をはかることができるとされている。

【さ行】

材積（ざいせき）

立木や丸太、製材された木材の体積のこと。
⇒ 蓄積

砂防指定地（さぼうしていち）

土砂の流出による被害を防止するため、砂防ダムや護岸などの砂防設備をつくる場合に必要となる土地や土砂災害防止のために一定の行為を禁止したり制限する土地の区域のこと。砂防法により国土交通大臣が指定する。森林法では制限林として位置付けている。

地拵え（じごしらえ）

植栽の準備のために行う、伐採跡地の枝条等の整理や余分な落葉の除去、雑草や低木の刈出しなどの作業のこと。

GIS（ジイ・アイ・エス）

Geographic Information System（地理情報システム）の略で、地図や空中写真等の図面情報と、文字・数値情報を、総合的に管理、分析、処理するシステム。例えば、国有林GISでは、森林計画図と森林調査簿を一体管理している。

自然公園（しぜんこうえん）

自然公園法に基づき自然景観の優れた区域として指定される国立公園、国立公園、都道府県立自然公園の総称。区域内の特別保護地区や第1種～第3種特別地域は、森林法上、制限林として位置付けている。
⇒ 国立公園、国立公園、道立自然公園

下刈り (したがり)
植栽した苗木の生育を妨げる笹、下草を刈り払う作業のこと。

指定施業要件 (していせぎょうようけん)
保安林、保安施設地区の指定目的を達成するために定められた施業上の要件。立木の伐採方法、伐採の限度、伐採跡地へ行う必要のある植栽の方法や期間及び樹種について定めている。

樹冠 (じゅかん)
樹木の枝や葉の集まっている部分のこと。クローネともいう。

樹冠疎密度 (じゅかんそみつど)
樹冠の投影面積をその区域の林地面積で除し指数化したもの。空中写真を用いた林分構造の解析、材積の推定などに重要な因子となる。

主伐 (しゅぱつ)
利用時期に達した林木を伐採すること。次の世代の樹木の更新を伴う伐採。
⇒ 皆伐、択伐、複層伐

小班 (しょうはん)
同一の林班において、森林所有者、樹種や林齢、作業上の取扱い等が同一な部分ごとに細分される森林の区画のこと。
⇒ 林班

除伐 (じょぱつ)
育成の対象となる林木の周囲に侵入し、成長を妨げている林木を除去(伐採)する作業のこと。

針広混交林 (しんこうこんこうりん)
トドマツ、エゾマツなどの針葉樹とミズナラ、イタヤカエデなどの広葉樹が混じり合って成立している森林。

人工造林 (じんこうぞうりん)
苗木の植栽、種子のまき付け、挿し木などの人為的な更新方法により森林を造成すること。
⇒ 天然更新

人工林 (じんこうりん)
人為的な更新手段(人工造林)によって成り立っている森林のこと。
⇒ 天然林

森林共同施業団地 (しんりんきょうどうせぎょうだんち)
国有林に隣接する民有林の森林所有者と国有林が、路網整備や森林整備等に関する森林整備協定を結び、それぞれ所有する森林の施業を連携して一体的に行うことを目的に設ける森林のまとまり(区域)。
⇒ 森林整備協定

森林作業道 (しんりんさぎょうどう)
主に集材や造材等の作業を行う林業機械の走行を想定して配置する路網。
⇒ 路網、林業専用道、林道

森林整備協定 (しんりんせいびきょうてい)
流域を単位として民有林、国有林が協調した森林整備を行うため、森林整備の計画などについて地方公共団体等と国が締結する協定。

森林施業 (しんりんせぎょう)
目的とする森林を育成するために行う造林、保育、間伐などの森林に対する人為的働きかけ。

森林認証制度 (しんりんにんしょうせいど)
独立した第三者機関が一定の基準等を基に、適切な森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林又は経営組織などを認証(森林認証)し、それらの森林から生産された木材・木材製品にラベルを貼り付けること(木材認証)により、消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する取組。現行の制度としては、世界レベルの認証制度であるFSC(森林管理協議会)やPEFC(森林認証プログラム)、我が国独自の認証制度であるSGEC(「緑の循環」認証会議)などがある。

森林の流域管理システム (しんりんのりゅういきかんりシステム)
流域を単位として、その流域内の市町村、林業、木材産業等の様々な関係者による合意の下で木材の生産から加工、流通にわたる川上から川下の連携を進め、民有林と国有林とが一体となった森林整備と林業、木材産業の活性化を総合的に展開しようとする取組。全国158流域の森林計画区を単位に推進している。

森林法 (しんりんほう)
森林の保続培養と森林生産力の増進を図り、国土の保全と国民経済の発展に資することを目的とする法律。森林計画や保安林など、森林に関する基本的事項を定めている。

森林・林業基本計画 (しんりん・りんぎょうきほんけいかく)
森林・林業基本法に定められた森林・林業政策の基本理念である、森林の有する多面的機能の発揮、林業の持続的かつ健全な発展の実現に向けて、森林及び林業に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、同法に基づき策定した計画。具体的には関係者の取り組むべき課題を明らかにした上で、森林の有する多面的機能の発揮並びに木材の供給及び利用の目標を設定するとともに、関連施策を示している。

森林・林業基本法 (しんりん・りんぎょうきほんほう)
森林に対する国民の要請の多様化、林業を取り巻く情勢の変化等に伴い、木材の生産を主体とした政策から森林の有する多面にわたる機能の持続的発揮を図るための政策へと転換し、国民的合意の下に政策を進めていくため、「森林の有する多面的機能の発揮」「林業の持続的かつ健全な発展」という森林・林業施策についての基本理念を明らかにしつつ、その実現を図るための基本となる事項を定めた法律。

水源(の)涵養 (すいげん(の)かんよう)
樹木及び地表植生などにより降雨、融雪水の地下浸透を助長し、貯留水を徐々に下流域に流出させる森林の理水機能のこと。洪水、濁水の防止やきれいな水資源の確保に資すること。

スキップ
高性能林業機械の一種。集材で使用される。
⇒ 高性能林業機械

制限林 (せいげんりん)
森林法、自然公園法、砂防法等の法令により立木の伐採が制限されている森林。(森林法施行規則第7条の2)

生物多様性 (せいぶつたようせい)
遺伝子、生物種、生態系のレベルで多様な生物が共存していること。

全国森林計画 (ぜんこくしんりんけいかく)
森林法に基づき農林水産大臣が全国の森林に対し15年を1期として立てる計画。

造林 (ぞうりん)
現在ある森林に手を加えることにより、目的に合った森林の造成を行うこと、又は新たに森林をつくること。造林の方法は人工造林と天然更新に大別される。

【た行】

択伐 (たくぱつ)
主伐のひとつで、成熟した木を抜き伐りすること。計画的に繰り返し伐採(抜き伐り)するため、伐採により林分の状態が大きく変化せず、持続的に次の世代の樹木を発生させることができるのが特徴。
⇒ 主伐

単層林 (たんそうりん)
林齢や樹高を同じくする単一の樹冠層からなる森林。複層林と対比される。

地域管理経営計画 (ちいきかんりけいけいけいかく)
国有林の地域別の森林計画と調和して、流域ごとに国有林野の管理経営に関する事項について、森林管理局長が定める5年間の計画。

地球温暖化 (ちきゅうおんだんか)
地球の温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨など、地球的視野に立って取り組まれるべき環境問題。

蓄積 (ちくせき)
一般に、森林を構成する樹木の幹の部分の材積合計をいう。
⇒ 材積

治山事業 (ちざんじぎょう)
森林の維持・造成を通じて山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、また、水源の涵養、生活環境の保全・形成などを図る事業。その内容は、荒廃山地の復旧、荒廃危険地における災害の予防、地すべりの防止、水需給上重要な流域における森林の整備、都市近郊における生活環境保全の整備などである。

鳥獣保護区 (ちようじゅうほくこ)
鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、鳥獣の保護繁殖を図るため、環境大臣又は都道府県知事が設定する区域。このうち、特に保護繁殖を図る必要がある区域が特別保護地区であり、森林の伐採等の制限を受けるため、森林法上、制限林として位置付けられている。

長伐期施業 (ちようぱきせぎょう)
通常より高齢級で伐採する施業で、一般的には、標準伐期齢のおおむね2倍の林齢に達するまで主伐を延長する施業のこと。伐採跡地や植栽直後の若い森林などは公益的機能が一時的に低くなるが、長伐期施業は成林状態が長いため公益的機能の維持に効果がある。

つる切り（つるきり）

樹木に巻き付いたつる類を切って取り除き、成長を促す作業のこと。

天然下種第Ⅰ類（てんねんかしゅだいいいちるい）

刈出し（天然稚幼樹の発生が良好な箇所において、ササ等の下層の植生を刈り払うことによって天然稚幼樹の生長を促進させる作業。）、地表処理（ササ及び粗腐植の堆積によって天然更新が困難な箇所において、大型機械によるかき起こし等を実施することによって天然更新を期待する作業。）、植込み（天然更新の不良な箇所で植栽によって更新を期待する作業。）、まき付け（ミズナラ等の種子を播くことやぼう芽力の強い樹種による更新などを期待する作業。）など人力等による補助を加えて稚樹の発生と成長を助長させる更新作業。

天然下種第Ⅱ類（てんねんかしゅだいいにるい）

後継樹の多い林分及び天然稚幼樹の発生、生育が良好で刈り出し、植え込み等の天然下種第Ⅰ類作業を必要としない林分又は立地条件等から天然下種第Ⅰ類作業を行うための条件が整わない林分で行う更新の方法。

天然更新（てんねんこうしん）

主として自然の力（天然力）によって次の世代の樹木を発生させ、森林を造成すること。
⇒ 人工造林

天然更新補助作業（てんねんこうしんほじょさぎょう）

自然の力で種子が定着するのを促したり、既にある天然稚幼樹の成長を促すなど、森林内の樹木の世代交代を助ける補助作業のこと。種子の発芽を促すため、地表のかき起こしや根株に密生した若芽（ぼう芽枝）を切って本数を減らして整理する作業などがある。
⇒ 天然下種第Ⅰ類

天然生林（てんねんせいりん）

主として自然の力（天然力）の活用により、保全・管理を行う森林。
⇒ 育成単層林、育成複層林

天然林（てんねんりん）

天然更新によって成り立っている森林のこと。
⇒ 人工林

道立自然公園（どうりつぜんこうえん）

自然公園法に基づいて北海道知事が設置して管理する自然公園。
⇒ 自然公園

土場（どば）

木材を森林から木材市場、工場まで搬出する過程で、一時的に集積し、貯木する場所をいう。集材作業現場に隣接した作業土場から、林道沿いに設けられる山元土場まで、場所も規模もさまざまである。

【な行】

【は行】

ハーベスタ

高性能林業機械の一種。立木を伐り倒し、枝払い、玉切りまでの工程を一台で行う。
⇒ 高性能林業機械

バイオマス

⇒ 木質バイオマス

伐期（ばつき）

林木が成熟して伐採時期に達する林齢のこと。

伐採（ばっさい）

樹木を切り倒す行為。

伐採跡地（ばっさいあとち）

林木を皆伐した跡地のこと。
⇒ 無立木地、未立木地

標準伐期齢（ひょうじゅんばつきれい）

樹木の平均成長量が最大となる林齢を基に、森林の持つ公益的機能や従来の平均伐採齢を勘案して樹種ごとに定める伐採（主伐）の基準となる林齢。

普通林（ふつうりん）

制限林以外の森林をいう。
⇒ 制限林

フェラーバンチャ

高性能林業機械の一種。伐倒で使用される。
⇒ 高性能林業機械

フオレスター

森林・林業に関する専門的かつ高度な知識・技術と現場経験を有し、長期的な視点に立って地域の森林づくりの全体像を示すとともに市町村や森林所有者等への指導を的確に実施する人材。

フオーダ

高性能林業機械の一種。集材で使用される。
⇒ 高性能林業機械

複層伐（ふくそうばつ）

複数の樹冠層に造成された森林を造成するための伐採方法で通常、帯状や群状に行い、その後、植栽を行う。
⇒ 主伐

プロセッサ

高性能林業機械の一種。枝払い、玉切りまでの工程を一台で行う。
⇒ 高性能林業機械

分収育林（ぶんしゅういくりん）

⇒ 分収林制度

分収造林（ぶんしゅうぞうりん）

⇒ 分収林制度

分収林制度（ぶんしゅうりんせいど）

森林の土地所有者と造林又は保育を行う者の2者、あるいは、これらに費用負担者を加えた3者で契約を結び、森林を造成・育成し、伐採時に収益を一定の割合で分け合う制度。分収林には、植え付け段階から契約を結ぶ「分収造林」と育成途上の森林を対象に契約を結ぶ「分収育林」がある。

保安林（ほあんりん）

森林法に基づき水源のかん養、土砂の流出や崩壊の防備、保健休養など、特定の公共目的を達成するため森林法に基づいて一定の制限（立木の伐採、土地の形質変更、植栽の義務等）が課せられている森林。

保育（ほいく）

樹木の生育を助け、健全な森林を造成するために、伐採までの間に行う下刈り、つる切り、除伐、間伐などの作業の総称。
⇒ 下刈り、つる切り、除伐、間伐

ぼう芽更新（ぼうがこうしん）

伐採した後の切り株から発生する芽（ぼう芽）を利用して行う更新の方法。
⇒ 天然更新

保護林制度（ほごりんせいど）

原生的な天然林や、貴重な動植物の保護、遺伝資源の保存等を目的として、区域を定め、禁伐等の管理経営を行うことにより、森林を保護する国有林野事業の制度。森林生態系保護地域、森林生物遺伝資源保存林、林木遺伝資源保存林、植物群落保護林、特定動物生息地保護林、特定地理等保護林及び郷土の森の7種類の保護林がある。

母樹（ぼじゅ）

天然更新に必要な種子を供給する親木。一般には、遺伝的に優良な個体を母樹とする。

【ま行】

緑の回廊（みどりのかいろう）

野生動植物の多様性を保全し、豊かにするため、その生息・生育地の拡大と相互交流を促すため、森林生態系保護地域などの保護林を相互に連結した野生動植物の移動経路。

未立木地（みりゅうぼくち）

無立木地のうち、伐採跡地を除いた林地のこと。
⇒ 無立木地、伐採跡地

無立木地（むりゅうぼくち）

樹木が生立していない林分。地域森林計画では、樹冠を投影した面積が30%未満の林地としており、未立木地と伐採跡地を合わせて無立木地という。
⇒ 未立木地、伐採跡地

木育（もくいく）

子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」という理念に基づく取組。子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育てること。

木質バイオマス（もくしつバイオマス）

「バイオマス」とは、生物資源(bio)の量(mass)を表す言葉であり、「再生可能な、生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)」のことを呼び、そのうち、木材に由来するものをいう。樹木の伐採や造材ときに発生する枝・葉や未利用間伐材などの林地未利用材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑のほか、街路樹の剪定枝や住宅の解体材などがある。

【や行】

【ら行】

流域管理システム（りゅういきかんりシステム）

⇒ 森林の流域管理システム

立木（りゅうぼく）

土地に生育する個々の樹木のこと。

林業専用道（りんぎょうせんようどう）

森林施業のために、主に10トン積程度のトラックの走行を想定し、森林作業道と組み合わせた上で、幹線となる林道を補完する路網。

⇒ 路網、林道、森林作業道

林相（りんそう）

森林を構成する樹種、林齢、大きさなどによって表される森林の姿をいい、針葉樹と広葉樹の材積比等で、大きく針葉樹林、針広混交林及び広葉樹林に分けられる。

林地（りんち）

林木育成の用途に供する土地(無立木地も含む。)をいうが、木竹が集団で生立している土地を指す場合が一般的である。

林地未利用材（りんちみりようざい）

伐採された木材のうち、未利用のまま林地に残置されている間伐材や枝条等。

林道（りんどう）

森林の管理や整備、林産物の搬出、森林レクリエーションなど、森林へのアクセスに利用される道路の一種。

⇒ 路網、林業専用道、森林作業道

林班（りんばん）

森林の位置と規模、施業等を勘案して設定した森林区画の単位で、境界や尾根などの天然地形又は林道などの地物により設定された固定的な区画のこと。

⇒ 小班

林分（りんぶん）

森林の取扱いの単位となる樹木の集団及びそれが生えている林地を合わせて「林分」という。樹木の集団のみを指す場合は、「林木」という。

林木（りんぼく）

林分を構成している樹木のこと。林地に生育する樹木。

林齢（りんれい）

森林の年齢。人工林では、苗木を植栽した年を1年生とし、以後、2年生、3年生と数える。

齢級（れいきゅう）

ある一定の年齢の幅に林齢をまとめたものをいう。通常は5年ごとにまとめる。1から5年生までをⅠ齢級、6～10年生をⅡ齢級、以下Ⅲ齢級、Ⅳ齢級……と称する。

レクリエーションの森（レクリエーションのもり）

国有林野のうち、人と森林とのふれあいの場として、国民の保健及び休養に広く利用されることを目的に指定した森林。自然休養林、風景林、森林スポーツ林、野外スポーツ地域及び風致探勝林等に区分される。

列状間伐（れつじょうかんばつ）

選木基準を定めずに単純に列状に間伐する方法。高性能林業機械の導入による作業効率の向上、選木作業の省力化等による間伐経費の節減やかかり木等の減少による安全性の向上に有効な手段。

⇒ 間伐

路網（ろもう）

森林の管理や整備、林産物の搬出、森林レクリエーションなど、森林へのアクセスに利用される道路のネットワーク。主に林道(幹線、支線)と森林施業のために使用する林業専用道、森林作業道で構成。